

特定非営利活動法人  
全国障害者生活支援研究会（サポート研）  
2008年度第1回公開セミナー

# 罪を犯した障害者、その生き難さへの支援とは？

山本讓司氏の「獄窓記」や「累犯障害者」、佐藤幹夫氏の「自閉症裁判」などの発表によって、知られざる世界、タブー視されていたとも言える、障害と犯罪の問題が社会的問題として一躍注目されるようになって、暫く経ちます。この間、2006年4月に厚生労働科学研究において「罪を犯した障害者の地域生活支援に関する研究班」が立ち上がり、さらに2007年11月～今年3月には障害者保健福祉推進事業「罪を犯した障害者の地域移行支援に係る職員の養成研修プログラム開発」の調査研究が、社会福祉法人南高愛隣会（長崎県雲仙市）を中心に厚生労働省、法務省の協働で取り组まれました。その結果、罪を犯した障害者の支援を専門的に行う「中央社会生活支援センター」がこの4月から南高愛隣会東京事業部でスタートしました。サポート研では今年度第1回の公開セミナーのテーマを「罪を犯した障害者、その生き難さへの支援とは？」と題し、下記のようなプログラムを考えました。皆さんの奮ってのご参加お待ちしております。

## 記

- 1 日時 2008年6月7日（土） 13:00～17:00（12:40受付）
- 2 会場 港区障害保健福祉センター 多目的体育室
- 3 定員 150名（定員になり次第締め切ります）
- 4 会費 会員：無料 非会員：1,000円

## ＜プログラム＞

13:00～13:40

### 講演Ⅰ「司法での問題と課題（少年審判を中心に）」

講師：関哉 直人氏（全日本育成会法律相談担当弁護士、五百蔵法律事務所）

一口に犯罪といっても、その内容は様々で、すべてが刑務所や少年院に送られるわけではありません。権利擁護の視点も交え、少年審判の実際を話していただきます。

13:40～14:30

### 講演Ⅱ「矯正教育での取り組みと課題」

講師：上野 友靖氏（神奈川医療少年院統括専門官・分類保護担当）

全国に4箇所しかない医療少年院。そこでは、障害者施設とはまた違った、心へのアプローチが取り组まれています。刑務所という行刑施設とは大きく異なる、少年院という矯正教育での取り組みを報告していただきます。

14:30～14:45（休憩）

14:45～17:00

### シンポジウム「罪を犯した障害者、その生き難さへの支援とは？」

上記の両氏に加えて、実際に刑期や矯正教育の期間を終えた多くの知的障害者（すべて東京都出身）の受け入れ、社会復帰、地域移行の支援を行っている

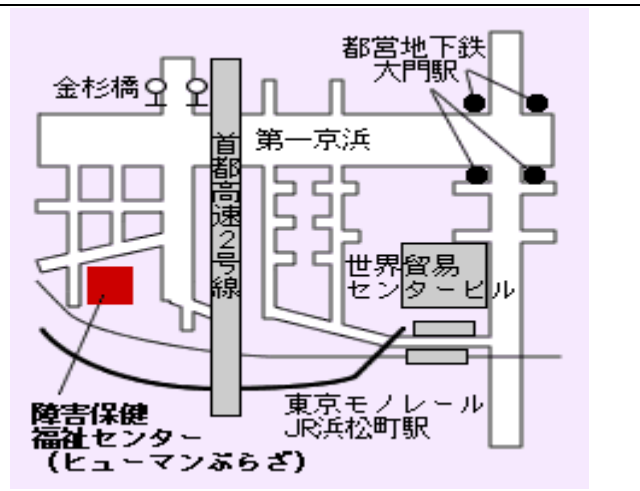
石川 恒氏（社会福祉法人紫野の会かりいほ施設長）

を迎え、入所施設での実際の取り組みを話していただきます。そして、再犯の問題、社会復帰、自立支援、そして障害とは？を皆さんと考えてみたいと思います。

ファシリテーター 赤平 守（当会理事・南高愛隣会調査研究プロジェクト研究員）

**障害保健福祉センター**

〒105-0014 港区芝1丁目8番23号  
 電話：03-5439-2511  
 ファックス：03-5439-2514  
 (こちらは申し込先ではありません)



申し込み締め切り 5月28日 (水)

**参加申込書**

全国障害者生活支援研究会 (サポート研) 事務局あて

TEL/FAX 044-271-8788  
 E-mail [support-ken@forest.ocn.ne.jp](mailto:support-ken@forest.ocn.ne.jp)

**2008年6月7日「サポート研2008年度第1回公開セミナー」に参加します。**

氏名	所属	種類	住所	TEL
		正会員		
		情報会員		
		非会員		
		正会員		
		情報会員		
		非会員		
		正会員		
		情報会員		
		非会員		
		正会員		
		情報会員		
		非会員		

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
 全国障害者生活支援研究会 (サポート研) 事務局  
 〒210-0848 川崎市川崎区京町2-24-4-608  
 TEL/FAX 044-271-8788  
 E-mail [support-ken@forest.ocn.ne.jp](mailto:support-ken@forest.ocn.ne.jp)  
 URL <http://support.ryoiku-c.com/>  
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆